

齋藤 久代

市内の新しい産業の育成は。
まちづくり振興部次長 産業活動支援条例を平成 23 年から始め、市民雇用を条件に、新設・増設の企業を奨励金で応援。8 社で 241 人の市民の雇用につながった。
八王子市での定年退職者を地域に迎える企画「お父さんお帰りなさいパーティー」が盛況だが。
市長 きっかけがなかった人が入りやすく有意義。シニア世代は貴重な担い手。考えてみたい。
病児・病後児保育が始まったが、小学生への拡大は。
答 稲保育園、どんぐり保育園で実施の病児・病後児保育、小学生への拡大へ向け検討を進めたい。

細谷 典男

空き家対策を進めるため、協議会設置、計画策定、実施と順に進めるべきで、その財政措置も必要。
総務部次長 県が主導で、各自治体からなる連絡協議会が設置されている。その中で種々勉強して検討していく。
空き地対策、雑草の苦情への対応は。
まちづくり振興部次長 現地確認、適正管理のお願い、指導、勧告と条例に沿って手続きしている。
のり面の雑草で危険な状態の場合の対策は。
まちづくり振興部長 私有地は対応できない。
建設部長 市道に影響があったり、通学路で危険な場合、緊急性を重んじて市職員が伐採を行うことがある。

落合信太郎

いじめから身を守るなど、不登校が問題行動と受け取られないような配慮が求められる中、市は夜間中学校開校を進めるべきだと思う。
教育長 国の方針の中では、都道府県で少なくとも 1 校が目標。市内生徒はほとんどが進学している中、ニーズや予算措置など調査も十分でなく、設置検討の段階ではない。
高校に進学するも、すぐ退学してしまうこともあるようだ。不登校児に対して、積極的に、多様な学びの機会を提供しては。
答 28 年度夜間中学は全国で 31 校、外国籍生徒が 8 割を占める。既存の教育相談センターなどが連携していくことで、しっかりと対応していく。

関戸 勇

つくば・牛久市では、県外で発生した土砂の搬入を規制している。当市も埋め立て条例で他県からの土砂の搬入を規制すべき。
まちづくり振興部長 当市は千葉県と接している。開発で大量の土砂が必要となった際、千葉県で発生した土砂を利用したほうが有利な場合もある。慎重に検討が必要。
埋め立ての地元説明会の範囲は、市条例だと周辺 50 メートル。県条例と同じ 300 メートルにして周知を広げるべき。
答 説明会は誰でも参加できる。市の状況、いろんな場面を想定しての条例の内容である。
まちづくり振興部次長 通学路の安全確保に関して、今後事前協議制の導入や、搬入方法を細分化するなどの予定。

小池 悦子

JR 取手駅東口バリアフリー化の進行状況は。
都市整備部長 現在、JR 東日本と協議を継続している。
整備完成期限のめどを立てた取り組みを進めるべき。
答 今後の目標年次も JR と一緒に検討を進めているところ。平成 27 年 8 月に締結した協定書に調査設計完了後、速やかな整備に向けた努力義務を明記している。市と JR はそれを果たす責任がある。なぜ速やかに進まないのか。
答 取手駅の構造的な課題があり、利便性と安全な経路の確保や財源の確保を検討している。

遠山智恵子

放課後子どもクラブの利用数が年々増加、環境整備は。
教育部長 児童占用スペースの基準を満たせない期間はわずか。利用が多いときには活用スペースを検討しながら行っている。
藤代小クラブの室内にトイレ設置と、取手東小クラブの入り口が一つしかないことへの考えは。
答 藤代小は倉庫スペースを使って検討し、東小は研究課題としていく。
支援員の処遇改善への考えは。
答 県主催の支援員向け研修を受けた方とそうでない方、もっと働きたい方とそうでない方などいろいろ。周辺市も参考にしながら検討していく。



9月実施の中央タウン防災訓練の様子(中央タウン自主防災会提供)

渡部 日出雄

市防災計画書を自治会や町内会に配布を。
総務部次長 平成 24 年度に概要版を配布した。来年度、自主防災会の連絡会議には配布したい。
市内自主防災会で定期的な防災訓練を実施している数。また、避難所運営訓練実施数は。
答 88 組織中、83 が実施している。避難所運営訓練は 8 組織から報告がある。
市関係各課、社会福祉協議会等と避難所運営に関する調整や市職員に対しての避難所運営指導は行っているのか。
答 行っていない。今後の検討課題。
対策が不十分。今後、一歩ずつ進めるべき。
総務部長 そのようにしていきたい。

結城 繁

染野家代々の当主は、本陣と共に、取手宿の名主を務められ、旧取手本陣は、大変貴重な文化遺産である。来場者の約 6 割が市外から訪れている。市の観光、文化財としての考えは。
教育部長 現状の形で保全しつつ、来館者への配慮に取り組んでいきたい。
かやぶき屋根の北・西側にコケが生えてきている。
答 補修申請していきたい。
スマホに説明が映し出されるようなものを検討しては。
答 今後の研究課題。
ほどよく絶妙サイトを開設したが、その効果は。
政策推進部次長 徐々にアクセス数も伸びている。気軽に投稿できる形で PR していきたい。



県指定文化財の旧取手宿本陣染野家住宅

竹原 大蔵

これまで決算の実績をどう予算に生かしてきているか。
財政部長 監査委員の審査、議会決算審査特別委員会での審議による指摘。その他、各課の決算執行状況からの経年推移などを検討し、可能な範囲で予算編成に反映してきた。
決算方法試行策のきっかけである新公会計制度への取り組みは。
財政課長 平成 19 ～ 26 年度決算は総務省方式改訂モデルに基づき公表。29 年度までの統一基準による作成要請を受け、平成 27 年度決算分から統一基準に基づき公表。
財務書類は決算審査の質向上や次年度予算編成の材料になり得ると考えるが、どう考えるか。
答 議会の決算審査や予算編成には有用だが、財務書類の完成は年度末で直接活用するのは困難。

加増 充子

白山西小跡地の民間企業から取得意向に対し、地元要望をもっと聞くべき。
政策推進部長 平成 26 年の公有地利活用調査で、民間の土地利用は期待が難しく、当面はコミュニティーの場としていた。今年 2 月に企業から打診があり、現在その案を検討しているが決定はしていない。
アンケートの結果、これまでのやり方に納得できない声。
答 いろいろな意見が届いてる。ある程度、市の考え方をまとめてご意見をいただく方向。
スポーツ団体など現在の利用団体へのフォローは。
教育部長 現在は暫定利用。周辺学校へ案内していく。